

瀬戸内海の自然・文化・歴史...守り、育むエコツーリズム

本協議会は、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念として、エコツアーコンテンツの構築・実践を行うことで、自然環境の保全・人材の育成・地域振興・新たな観光ビジネスの創生を目指し活動しています。

瀬戸内海では平成27年10月2日に瀬戸内法が改正され、「豊かな瀬戸内海」を目指して生態系の保全と、美しい景観の保全に向けた取り組みを行う事が定められ、自然景観と文化的景観の保全のため「エコツーリズムの推進」が明記されました。

一方、瀬戸内海の島嶼部は限界を超えた「超過疎化」に陥り、無人島化が進んでいます。このため、歴史や伝統文化が消滅し、自然環境の管理も不可能となっています。この状況を開拓するために、エコツーリズムによる活性化を図っていきたいと考えています。

そのため、「第8回エコツーリズムフォーラム2019」では、瀬戸内海の自然景観や文化的景観を支えている環境資源を守りつつ活用するため、エコツーリズムにより島嶼部の地域活性化を促進して無人島化を防ぎ、「豊かな瀬戸内海」に向けた取り組みを推進していきます。



Program

13:00



■オープニング

13:15

開会挨拶(趣旨説明) 田中 秀宜 一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会 事務局長
来賓挨拶 牛場 雅己 環境省 中国四国地方環境事務所 所長

13:15



■第1部 基調講演および活動報告

14:40

基調講演 「島の漁村の活性化」

中泉 昌光 国立大学法人 東京海洋大学

先端科学技術研究センター 漁業地域再生プロジェクト 特任教授

活動報告 「平成30年度 瀬戸内ツーリズム推進協議会活動報告」

上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

14:50



■第2部 パネルディスカッション

総合討論 「瀬戸内海島嶼部の地域活性化に向けたエコツーリズムの戦略と役割」

16:30

コーディネーター 上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

コメントーター 中泉 昌光 国立大学法人 東京海洋大学 特任教授

パネリスト 前田 敏幸 NPO法人 おぢかアイランドツーリズム協会 理事長

常富 豊 環境省 中国四国地方環境事務所 統括自然保護企画官

豊田 渉 忽那諸島 地域ガイド

井本 喜久 一般社団法人 The CAMPus 代表理事

16:30



■クロージング

16:40

閉会挨拶 森永 智絵 広島県 環境県民局 局長

16:45



■記念撮影

16:50

■交流会

17:30



注:フォーラム終了後、交流会を開催いたします! (場所:リトルランテマリオ)
是非、ご参加ください! (参加費3,000円)

19:30

Profile



中泉 昌光 Nakaizumi Masamitsu
国立大学法人 東京海洋大学 先端科学技術研究センター 特任教授(工学博士・技術士)

1959年生まれ。1983年東北大工学部卒業、同年農林水産省水産庁入省。主に水産庁の漁港漁場整備事業、漁村環境整備に関わる業務に携わるほか、大臣官房国際部(食糧問題等国際関係担当)、北海道開発局(直轄漁港整備事業)、国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所(港湾空港技術研究所)に出向、2017年2月に退官。同年7月より現職に就き、漁業地域再生プロジェクトを担当。ICT技術の活用や国内に限らず海外も含めた現地調査を通じて、国際的水産物消費に対応した漁港の管理運営や人口減少・高齢化が急進する漁村における滞在型旅行の推進に取り組んでいる。



前田 敏幸 Maeda Toshiyuki
NPO法人おぢかアイランドツーリズム協会 理事長

1978年長崎県生まれ。2009年から地元に戻り、NPO法人おぢかアイランドツーリズム協会の活動に参加、観光ガイドや、教育キャンプを行う現場の責任者を担うとともに、民泊登録可能民家調査や誘致活動を行い、修学旅行、教育旅行民泊受け入れを行う等、地域の発展を目指し観光客を呼び込むための事業に関わる。2016年10月理事長に就任、小値賀町の観光振興とブランド化の推進に従事。「海風の国、佐世保・小値賀観光圏」副会長。



常富 豊 Tsunottomi Yutaka
環境省 中国四国地方環境事務所 統括自然保護企画官

1992年環境庁入庁。2011年7月、環境省自然環境局内に新設された生物多様性施策推進室(現:生物多様性主流化室)の室長補佐として生物多様性の普及啓発・主流化の業務に従事。2013年4月以降は中部(名古屋)→東北(仙台)→中国四国(岡山:現職)の各地方環境事務所の統括自然保護企画官を歴任。

野外に出ると花の撮影と山菜・キノコ採りに夢中になる、一目あぶない人に変貌します。



豊田 渉 Toyota Wataru
忽那諸島 地域ガイド

1953年愛媛県二神島生まれ。松山市の工業高校卒業後、二神島にUターンし役場に入庁。島に帰つていきなり青年団副団長。その後、自分の島や地域を知るために他の島を見なければとの思いで、愛媛県離島青年協議会や全国離島青年会議などに参加。1976年5月から8年間ガリ版刷り「島の新聞よもぎ」を発行し、島の歴史・文化などの調査も手掛けながら2003年3月には「二神系譜研究会」の設立に参加。毎夏、子どもたちを対象にした「無人島・由利島での集い」は1981年から2012年まで開かれた。中島への船通勤は43年を過ぎた。



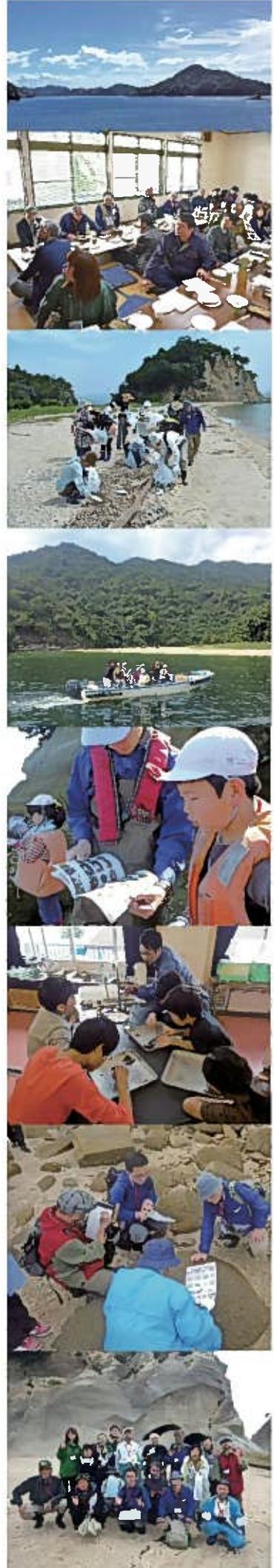
井本 喜久 Imoto Yoshinori
プランディングプロデューサー / 一般社団法人 The CAMPus 代表理事

1974年広島県竹原市生まれ。東京農業大学を卒業後広告業界へ。デザイン会社COZ(株)をスタートさせ、様々な企業のブランドづくりに携わる。2012年、飲食のオリジナルブランドをスタートさせる。2016年には「学び」をテーマにした若者が主役の都市型マルシェを新宿駅屋上で展開し延べ10万人を動員。2017年には「世界を農でオモシロくする」をテーマにしたインターネット農学校 The CAMPus (<http://thecampus.jp>)を開校。地域活性化を前提とした新型農家の誕生を目指して日々奔走中。



上嶋 英機 Ueshima Hideki
瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長

福井県敦賀市生まれ。工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所(現・産業技術総合研究所)に入所以来、瀬戸内海の環境研究に従事。2005年より広島工業大学大学院教授就任。2015年退職後、客員教授就任。2010年、「一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会」理事長に就任。2011年、「瀬戸内ツーリズム推進協議会」会長に就任。所属団体に、「一般社団法人 大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア」理事長、「宮島ラムサール条約連絡協議会」会長など。



【瀬戸内ツーリズム推進協議会の活動】

1. 瀬戸内海国立公園における「瀬戸内海エコツーリズム」の構築事業
事業化の促進を図るため、エコツアーの本格的実施を行っています。
2. エコツーリズムのための人材育成事業
人材の養成研修「エコ塾」の充実を図るため、養成研修の実践的運用を行っています。
3. エコツーリズムのためのインフラ整備計画事業
エコツーリズムのためのインフラ整備について、検討・提案を行っています。
4. エコツーリズムフォーラムの開催
5. エコツーリズム推進全体構想の申請に向けた取り組み

第8回エコツーリズムフォーラム2019 講演集 平成31年1月26日

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会

【構成メンバー：広島県、呉市、廿日市市、一般社団法人 せとうち観光推進機構、
一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会】

後援：環境省 中国四国地方環境事務所、EPO ちゅうごく（環境省 中国環境パートナーシップオフィス）、一般社団法人 中国経済連合会、NPO 法人 日本エコツーリズム協会、一

般社団法人 日本旅行業協会、株式会社 中国新聞社、学校法人 鶴学園 広島工業大学

協力：学校法人 ひらた学園 IWAD 環境福祉リハビリ専門学校、ひろでん中国新聞旅行株式会

社、NPO 法人 里海づくり研究会議、一般社団法人 地域資源研究センター、NPO 法人 自然環境ネットワーク SAREN、株式会社 Gun 地域システム研究所、山口県東部海域にエ

コツーリズムを推進する会、日本ミクニヤ株式会社、総合技研株式会社